

2025年度日本産業衛生学会
九州産業歯科保健部会

定例研修会のお知らせ

テ ー マ

働く人を支える歯科の可能性
～九州発・産業保健との新しいつながり～

参加費
無料

先着
30名

2026
2/21 土
17:30-20:00
(終了後懇親会あり)

会場

福岡県歯科医師会館 (現地開催)

〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12番43号

お申し込み方法

参加申し込みは専用WEBサイトから
www.subarashiisaito.co.jp

申し込み締切：2月6日(金)



※日歯生涯研修事業の研修単位登録: 受講研修4単位

開催趣旨

「産業歯科」という言葉から、特殊作業や職業性疾患を連想し、“自分とは縁遠い分野では”と感じられる先生も少なくないと思います。しかし、新型コロナ以降の働き方改革や健康経営の普及、メンタルヘルス対策の充実などにより、職域を取り巻く環境は大きく変化しています。

今回の研修会は、産業保健総合支援センター (通称: さんぽセンター) および地域産業保健センター (通称: 地さんぽセンター) の活動に着目し、歯科が働く人を支える領域へどのように関わることができるのかを学ぶことを目的として企画しました。

講師には、産業保健の制度と実務に精通されている筒井 保博先生 (福岡産業保健総合支援センター所長) と、地域で産業保健活動に取り組まれている唐鎌 史行先生 (東京都開業歯科医師) をお迎えします。産業保健側の視点と、開業歯科医としての実践的な視点の双方から、歯科と産業保健の新しいつながりを探る機会となれば幸いです。

講演 01

歯科医院と
産業保健との関わり

筒井 保博先生

福岡産業保健総合支援センター 所長
兼任: 産業医科大学 産業衛生教授



講演 02

産業衛生分野において
「普通の歯科医師」に
何ができるのか

～地さんぽセンターとの
かかわりを通して考えたこと～

唐鎌 史行先生

東京都開業歯科医師
労働衛生コンサルタント



企画: 九州産業歯科保健部会 (日本産業衛生学会産業歯科保健部会九州地方会)

後援: 九州・福岡健康経営推進協議会



働く人を支える歯科の可能性 ～九州発・産業保健との新しいつながり～

「産業歯科」という言葉から、特殊作業や職業性疾患を連想し、“自分とは縁遠い分野では”と感じられる先生も少なくないと思います。しかし、新型コロナ以降の働き方改革や健康経営の普及、メンタルヘルス対策の充実などにより、職域を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした変化に伴い、口腔の健康を通じて働く人を支えるという観点から、歯科が産業保健に寄与できる領域は確実に広がっています。産業医科大学を擁する九州地区でも、歯科と産業保健の連携が新たなテーマとして注目されています。

講演 01

筒井 保博 先生 福岡産業保健総合支援センター 所長／兼任: 産業医科大学 産業衛生教授

歯科医院と産業保健との関わり

福岡産業保健総合支援センター (福岡県医師会館内) の所長を務めておられる筒井保博先生にご講演いただきます。産業保健の基本的な考え方をご紹介いただくとともに、さんぽセンターの主要業務である「治療と仕事の両立支援」や「ストレスチェック制度」についても、わかりやすくお話しいただく予定です。

講演 02

唐鎌 史行 先生 東京都開業歯科医師／労働衛生コンサルタント

産業衛生分野において

「普通の歯科医師」に何ができるのか
～地さんぽセンターとのかかわりを通して考えたこと～



唐鎌先生は葛飾区で開業されている歯科医師です。先生が関わっておられる「地さんぽセンター (東京東部地域産業保健センター)」の運営協議会の構成や会議内容についても触れたいいただきながら、開業歯科医として取り組まれている産業保健活動の実際をご紹介いただきます。歯科医師として何ができるのか、その糸口を考える機会となることを期待しています。

会場 ……福岡県歯科医師会館

〒810-0041

福岡市中央区大名1丁目12番43号
公益社団法人 福岡県歯科医師会



福岡市営地下鉄 博多駅より天神駅
(所要時間約5分) 下車後、徒歩約7分



問い合わせ

事務局：福岡歯科大学 口腔保健学講座

TEL: 092-801-0616 ✉ : kisdh2022@fdcn.ac.jp